

請求の範囲

- [請求項1] 複数の繊維層（a）と、前記繊維層（a）に接触する樹脂（b）とを含み、
前記繊維層（a）を構成する繊維の繊維径が、 $0.6\mu\text{m}$ 以上 $170.0\mu\text{m}$ 以下であることを特徴とする、模擬強膜。
- [請求項2] 複数の前記繊維層（a）の間の剥離強度が、 $0.20\text{N}/\text{cm}$ 以上であることを特徴とする、請求項1に記載の模擬強膜。
- [請求項3] 前記樹脂（b）のアスカ－F硬度が45以上95以下、または、前記樹脂（b）のアスカ－C硬度が5以上35以下であることを特徴とする、請求項1に記載の模擬強膜。
- [請求項4] 前記繊維層（a）が不織布を備えることを特徴とする、請求項1に記載の模擬強膜。
- [請求項5] 前記樹脂（b）が、ポリウレタンを含むことを特徴とする、請求項1に記載の模擬強膜。
- [請求項6] さらに、表面コート層（c）を備えることを特徴とする、請求項1に記載の模擬強膜。
- [請求項7] 眼球手術練習用の模擬強膜であることを特徴とする、請求項1に記載の模擬強膜。
- [請求項8] 請求項1に記載の模擬強膜を含むことを特徴とする、模擬眼球。
- [請求項9] 複数の繊維層（a）と、前記繊維層（a）に接触する樹脂（b）とを含み、
前記繊維層（a）を構成する繊維の繊維径が、 $0.6\mu\text{m}$ 以上 $170.0\mu\text{m}$ 以下である模擬強膜の製造方法であって、
複数の繊維層（a）を積層する工程と、
積層された前記繊維層（a）に樹脂（b）を含浸させる工程とを備えることを特徴とする、模擬強膜の製造方法。